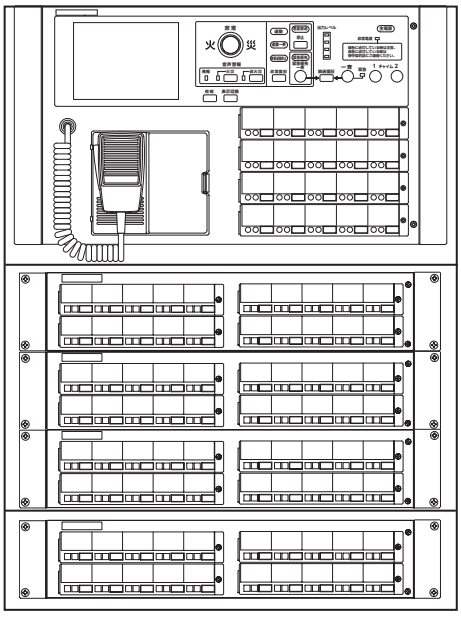
JVC

ラック型非常業務遠隔操作器
インテリジェントPAシステム

型名 EM-C1000シリーズ　取扱説明書



販売店様へ
本システムの設定状態を 14 ページに記入のうえ、お客様にお渡しください。

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの**「取扱説明書」**と別冊の**「安全上のご注意」**をお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

LST1497-001A

特長

ラック型非常業務兼用遠隔操作器

コンパクトで薄型のインテリジェント PA 専用非常業務兼用遠隔操作器です。オプション使用により、壁面取り付けも可能です。

自動音声警報機能

消防法施工規則、技術基準に対応した自動音声警報機能により、的確な非常放送ができます。

緊急優先放送機能

地震・事故などの緊急事態に他の業務放送より優先される緊急優先放送ができます。
緊急優先一斉スイッチ、ブロックスイッチ、または外部からの起動により優先的に放送できます。

各種放送用メッセージを標準搭載

地震速報や防犯放送などのメッセージを標準搭載しています。ワンタッチで放送ができます。

自己診断機能

コンピューターによる自動診断機能により、機器の異常状態を検出して液晶画面表示と電子音でお知らせます。

操作案内システム

非常時には操作案内システムがはたらき、液晶画面表示と音声ガイドで操作を指示します。

ブロック放送機能

業務放送、BGM 放送、報時チャイム、電話ページングなどの放送において、複数のスピーカー回線を機能別 / 用途別に任意のグループにまとめて放送できます。

停電放送対応（業務放送）

業務停電放送用の予備電源システムを接続することで、停電時の業務放送に対応することができます。

緊急地震速報の優先放送対応

消防法改正対応により、緊急地震速報用のメッセージを非常放送より優先して放送できます。

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

ご注意：	操作上の注意が書かれています。
メモ：	機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。
☞	参考ページや参照項目を示しています。

■本書の記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では ™、®、© などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。
- 設定に関する用語や設定方法の詳細は、EM-1000 シリーズの「設置説明書（設定・動作確認編）」をご覧ください。

もくじ

はじめに

特長 2
正しくお使いいただくためのご注意 4
日常点検について 5
　電源の点検について 5
　自動診断機能について 5
保守点検契約のおすすめ 6
操作説明図について 6

各部の名称とはたらき

外観図例 7
非常業務遠隔操作器 (EM-C106) 8
　液晶表示部 10
　ポケットカバー内 11

非常放送をする

緊急の場合（非常放送の操作方法） 12
　火災を確認する 12
　手動で非常放送を行う 13
非常放送の動作について 14
自動音声警報の種類と内容について 15
　緊急地震放送について 15
　非常放送の操作ガイドについて 15

業務放送をする

業務放送のしかた 16
　非常業務遠隔操作器（EM-C106）からの
　マイク放送 16
ブロック放送をする 17
　業務ブロック放送のしかた 17
　BGM のブロック放送のしかた 17
緊急優先放送について 18
緊急優先放送をする 18
　緊急優先一斉放送をするとき 18
　緊急優先ブロック放送をするとき 19
　緊急優先起動放送をするとき 19
停電時の業務放送について 20
　緊急優先一斉放送 20
　停電起動放送 20

操作練習について

操作練習モードの仕様 21
　操作練習モード中の動作 21
　本体での操作練習モードの詳細 21

その他

音量調節のしかた 23
ネームカードについて 24
　ネームカードの記入 24
　ネームカードの取り付け 24
困ったときは 25
　緊急時、機器が動かなくなったら 25
保証とアフターサービスについて 25
仕様 26

■本書の記載内容について

本書では、機器の名称を機種名や呼称で表記しています。
各機器の商品名、機種名と呼称は次のとおりです。

商品名	機種名	呼称
非常業務操作器	EM-E106 （EM-E1000 シリーズ）	本体
非常業務遠隔操作器	EM-C106 （EM-C1000 シリーズ）	非常リモコン
回線追加ケース	EM-E12	回線追加ケース
回線追加ユニット	EM-E5	回線追加ユニット
主入力制御ユニット	EM-Y102	主入力制御ユニット
回線制御ユニット	EM-L92	回線制御ユニット
パワーアンプ	EM-A083 EM-A163 EM-A244 EM-A364	パワーアンプ、 アナログパワーアンプ
デジタルパワーアンプ	EM-A822D EM-A842D	パワーアンプ、 デジタルパワーアンプ
非常電源ユニット	EM-N112	非常電源ユニット
ニッカド蓄電池	NB-60(35B)	蓄電池
電源切換ユニット	EM-X11	電源切換ユニット
追加 DC ユニット	EM-P22	追加 DC ユニット
主電源ユニット	EM-P11	主電源ユニット
ミキサーユニット	EM-M102	ミキサーユニット
モニターユニット	EM-S102	モニターユニット
デジタルマトリックスユニット	PA-MX92	デジタルマトリックスユニット
デジタルプログラムチャイム	PA-DT600	デジタルプログラムチャイム
デジタルボイスファイル	PA-DR600	デジタルボイスファイル
デジタルミュージックマシン	PA-DA600	デジタルミュージックマシン
標準ラックケース	PA-R641B	ラックケース
ミニラックケース	PA-R631B	
リモコンケース	EM-R6	リモコンケース
追加リモコンケース	EM-R2	
リモートマイクロホン	PA-C50 PA-C51 PA-C52 PA-C53	業務リモコン、 PA-C50 シリーズ
マルチリモートマイクロホン	PA-C620	マルチ業務リモコン

正しくお使いいただくためのご注意

保管および使用場所

■ 次のような場所に置かない
誤動作や故障の原因になります

- 許容動作温度（0℃～ 40℃）範囲外のところ
- 許容動作湿度（30%～ 80%）範囲外のところ
- 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
- トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
- ほこりや砂の多いところ
- 振動の激しいところ
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
- 放射線やX線、および腐食性ガスの発生するところ

■ 本システムの周囲に物を置かない

操作の妨げにならないように左右 0.5 m 以内、操作面前方 2 m 以内には物を置かないでください。

取り扱いについて

■ 本システム用の電源分電盤のスイッチは保守点検時や緊急時以外には切らない

本システムは停電時にも非常放送ができるよう非常用蓄電池を収納し常に充電しています。

■ 機器を重ねて使用しない

お互いの熱やノイズの影響で誤作動したり故障したり、火災の原因となることがあります。

■ 通気孔をふさがない

通気孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。本システムを横倒し、逆さま、あお向けの状態で使用しないでください。

■ 本システムの上に物を置かない

本システムの上に物を置くと、バランスが崩れて倒れたり、置いた物が落ちたりしてけがの原因になることがあります。

■ 本システムの上に乗らない、ぶら下がらない

倒れたり壊したりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様には注意してください。

■ 本システムの上に水の入ったもの（花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

■ 内部に物を入れない

機器の内部に金属類や燃えやすいものなどが入ると火災や感電の原因となります。

お手入れについて

■ 本システム各機はやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと表面が溶けたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。

点検・調整について

■ 本システムの内部にさわらない。
本システムの内部に触れることは、故障や感電の原因となります。点検や調整は設置業者にお任せください。

■ 落雷による不具合が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者または弊社ご相談窓口にご連絡ください。

EM-900 シリーズに接続した場合のご注意

以下の機能は EM-900 シリーズに接続した場合、制限されますのでご注意ください。

■ 緊急地震放送

非常放送より緊急地震放送を優先することはできません。
緊急地震放送を放送中、表示灯は点滅しません。
緊急地震放送を放送中に緊急地震放送停止スイッチを押しても、緊急地震放送を停止することはできません。

■ 緊急優先放送

緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、緊急優先起動放送には対応しておりません。
緊急優先一斉スイッチは、従来の EM-C96 の機能「緊急一斉放送」として機能します。

■ 一斉はずし

緊急優先一斉スイッチ／一斉スイッチに放送しない場所を設定することはできません。

■ 内蔵メッセージ放送

業務ブロックスイッチで、内蔵メッセージを放送することはできません。

■ 制御出力ブロックスイッチ

ブロックスイッチで外部機器を制御することはできません。

■ 個別回線表示ブロック

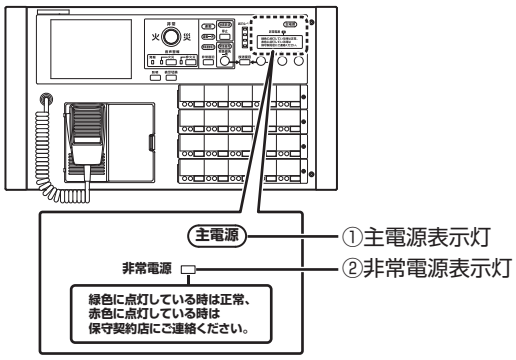
放送場所をスピーカー回線ごとに確認することはできません。

日常点検について

非常時などの際、的確に機器が動作するように日常点検を行なってください。

電源の点検について

非常業務遠隔操作器（EM-C106）



電源の点検は下表のように行なってください。
表中の各表示灯やスイッチの番号は、上図に対応しています。

項目	確認手順	正常	異常
主電源の点検	非常業務遠隔操作器の①主電源表示灯を確認する。	点灯（緑色）	消灯
非常電源の点検	非常業務遠隔操作器の②非常電源表示灯を確認する。	点灯（緑色）	点灯（赤色）

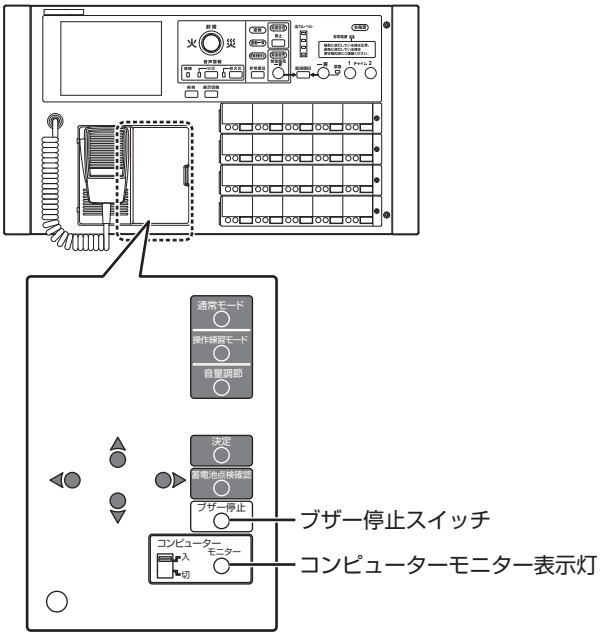
メモ：

- 異常のときはすみやかにお買い上げ販売店、保守点検契約業者、または弊社ご相談窓口へご連絡ください。

自動診断機能について

非常業務遠隔操作器（EM-C106）はコンピューターによる自動診断機能を搭載し、機器の状態を監視しています。

非常業務遠隔操作器（EM-C106）



自動診断機能の内容

項目	内容	異常発生時の表示場所とその内容
スピーカー回線の短絡の監視	放送中、スピーカー回線の短絡を監視します。	ブザー音（ピーッ、ピーッ）と液晶画面に異常を表示
通信回線の監視	常時、主入力制御ユニットなどの接続機器の通信状況を監視します。	
パワーアンプの動作の監視	放送中、パワーアンプの動作を監視します。	
非常用蓄電池の点検	24 時間ごとに非常用蓄電池と予備電源用蓄電池（接続時のみ）の電圧を点検します。	ブザー音（ピーッ、ピーッ）と液晶画面に該当蓄電池での異常を表示
コンピューターの動作の監視	常時、本機内蔵のコンピューターの動作を監視します。正常時は 1 秒ごとの点滅。	コンピューターモニター表示灯が点滅しない <コンピューター動作>異常

メモ：

- 警告音を停止するにはブザー停止スイッチを押してください。
  異常が発生した場合はすみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口へご連絡ください。

保守点検契約のおすすめ

非常用放送設備は消防法で定期点検が義務づけられています。

- 非常用放送設備を設置した防火対象物の関係者は、当設備の定期点検を実施し、その結果を所轄消防長または、消防署長に報告しなければならない。
- 点検者は、消防用放送設備を設置した防火対象物のうち政令で定めるものにあっては、消防設備士免状の公布を受けている者、または総務大臣が認める資格を有する者でなければならない。

消防法　第 17 条 3 の 3 要約

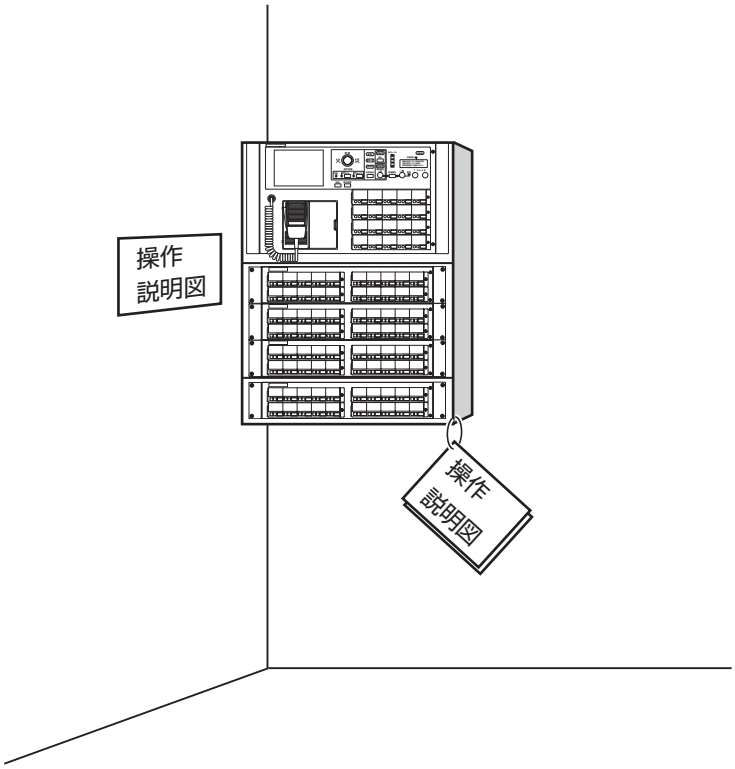
資格および専門知識を必要とするため、外部に委託し点検報告を代行させることが**「保守点検制度」**です。

メモ：

- お買い上げ販売店、保守点検業者、または弊社ご相談窓口の有資格者が保守点検を申し受けしますので、お問い合わせのうえ、保守点検契約を締結していただきますようおすすめいたします。

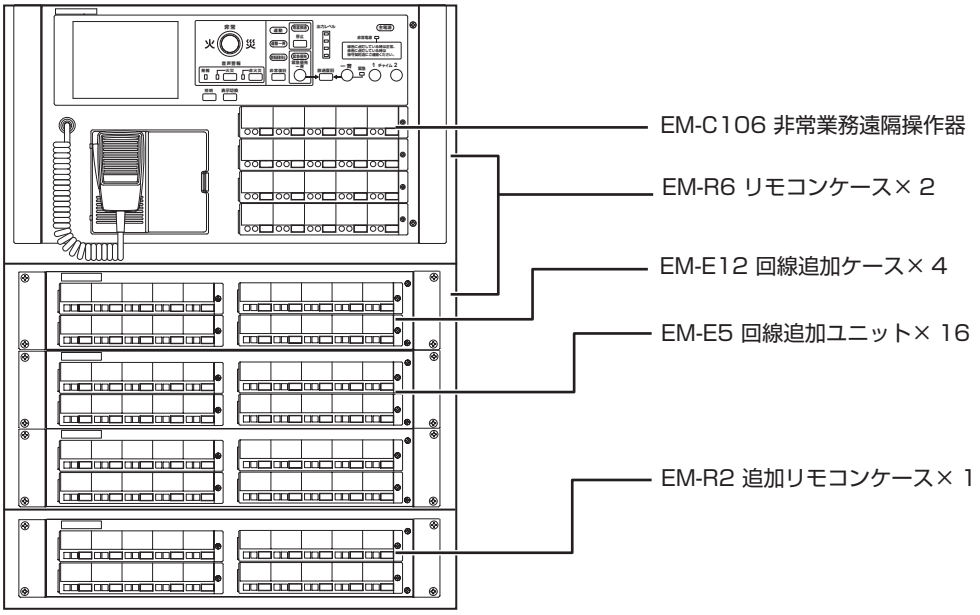
操作説明図について

付属の**「操作説明図」**は、非常時に確実な操作ができるように、本機の近くへ掲示してください。



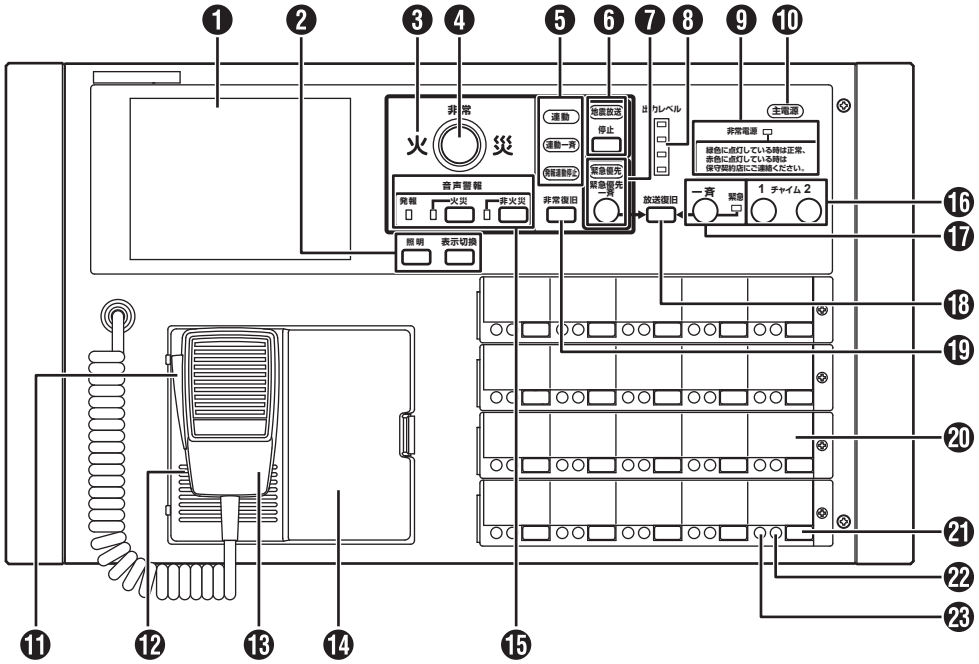
外観図例

■EM-C1000 シリーズ（壁掛型例）



図は 100 回線の場合です

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



❶ 液晶表示部

放送中は放送名を表示します。
異常（エラー）発生時は異常内容を表示します。
「液晶表示部」（☞ 10 ページ）

❷ 液晶表示部スイッチ

［照明］スイッチ

液晶表示部のバックライトを点灯させるときに押します。

［表示切換］スイッチ

画面の表示内容を切り換えるときに押します。

❸ 火災灯

非常放送状態のときに点灯します。

❹ 非常起動スイッチ

手動で非常放送をするときに押します。
「手動で非常放送を行う」（☞ 13 ページ）

❺ 自火報連動モード表示灯

自動火災報知設備からの火災信号受信時の動作に関する各モードが設定されているときに点灯します。

- ［連動］
  火災信号によって、出火階と連動階へ非常放送します。
- ［連動一斉］
  火災信号によって、全館へ非常放送します。
- ［発報連動停止］
  火災信号を受信した場合、ブザー音（火災音信号）が鳴動します。［発報連動停止］が設定されているときは、発報放送を行いません。

❻ ［緊急地震放送］表示灯 / ［緊急地震放送停止］スイッチ

緊急地震放送を放送中に表示灯が点滅します。
緊急地震放送を停止するときに、［緊急地震放送停止］スイッチを押します。

❼ ［緊急優先］表示 / ［緊急優先一斉］スイッチ

［緊急優先］表示

緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、外部起動の緊急優先放送のいずれかの放送中に点灯します。

［緊急優先一斉］スイッチ

全館に緊急優先一斉放送をするときに押します。
放送される室内のアッテネーターを無効にして放送します。

メモ：

- ［緊急優先一斉］スイッチは、設定により放送しない場所（スピーカー回線）があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

❽ 放送出力レベル表示灯

放送される音量を表示します。表示灯 4 つのうち 2 つが点灯する音量が適切なレベルになります。

❾ 非常電源表示灯

非常電源の状態を表示します。
正常な状態では緑ランプが点灯し、異常な状態では赤ランプが点灯します。

❿ 主電源表示灯

常時点灯します。

⓫ 非常業務兼用マイクスイッチ

マイクを使用して放送するときに押します。

⓬ モニター用スピーカー

放送内容を確認（モニター）します。
非常業務兼用マイクのスイッチを押すと、モニター音は停止しハウリングを防止します。

⓭ 非常業務兼用マイク

マイクからのアナウンスをするときに使用します。

⓮ ポケットカバー

音量を調節する場合や操作練習を行うためのスイッチがカバー内にあります。

「ポケットカバー内」（☞ 11 ページ）

⓯ 音声警報部

［発報放送表示灯］

発報放送中に点灯します。

発報放送中に ⓭非常業務兼用マイクで放送したあとや、発報放送の自動音声終了後の火災音信号（ピーィ、ピーィ、…）が鳴動中のときは点滅します。

［火災放送表示灯］

火災放送中に点灯します。

火災放送中に ⓭非常業務兼用マイクで放送したあとなどは点滅します。

［火災放送スイッチ］

火災放送（火災時の自動音声）をするときに押します。

［非火災放送表示灯］

非火災放送中に点灯します。非火災放送の自動音声終了後などは点滅します。

［非火災放送スイッチ］

非火災放送をするときに押します。

メモ：

- 火災が発生していないことを知らせる自動音声のことを非火災放送といいます。

⓰［チャイム 1］/［チャイム2］スイッチ

放送開始および終了時などにチャイムをならすときに押します。工場出荷時、[チャイム 1] [チャイム2] スイッチには、それぞれアップチャイム、ダウンチャイムが設定されています。

⓱［一斉］スイッチ /［緊急放送］表示

非常放送時または業務放送時、全回線一斉に放送するときに押します。

設定により、放送される室内のアッテネーターを“有効”または“無効”にできます。

［緊急放送］表示が消灯しているときは、室内のアッテネーターは“有効”に設定されています。ただし、非常放送時は、放送される室内の音量切り換えを“切”にしたエリアにも放送されます。

メモ：

- ［一斉］スイッチは、設定により放送しない場所（スピーカー回線）が発生する場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

⓲ 放送復旧スイッチ

非常リモコン放送および緊急優先放送（外部起動は除く）時に押すと放送終了になります。非常放送時に押すと選択している回線がすべて解除されます。（非常状態は保持されます。）

⓳ 非常復旧スイッチ

非常放送終了時に押します。

⓴ ネームカード取り付け用アクリルカバー

本機に添付のネームカードに放送先名称を記入して取り付けます。

- 緊急優先ブロックスイッチ用.....橙色（添付）
- 放送階選択スイッチ用.....白色（添付）
- 業務ブロックスイッチ用.....緑色（添付）
- BGM ブロックスイッチ用.....黄色（添付）
- 制御出力ブロックスイッチ用
- 個別回線表示用

メモ：

- 設置支援アプリケーションソフトウェア EM-ZS1000 を使って印刷できます。色は任意で設定できます。「ネームカードについて」（☞ 24 ページ）

㉑ 出力スイッチ

放送先を選択するときに押します。

このスイッチは、設定によって次のように機能が異なります。設定についてはお買い上げ販売店、保守点検業者にご相談ください。

- **緊急優先ブロックスイッチ ［橙ネームカード］**
  あらかじめ登録された放送先に緊急優先放送をするときに押します。設定により内蔵メッセージを放送することもできます。
  業務放送時に使用できます。
- **放送階選択スイッチ ［白ネームカード］**
  放送する階を選択して放送するときに押します。
  業務放送時でも非常放送時でも使用できます。
- **業務ブロックスイッチ ［緑ネームカード］**
  あらかじめ登録された放送先に業務放送をするときに押します。設定により内蔵メッセージを放送することもできます。
  業務放送時に使用できます。
- **BGM ブロックスイッチ ［黄ネームカード］**
  BGM 放送するときに押します。
  復旧するときはもう一度押します。
- **制御出力ブロックスイッチ**
  本機に接続された機器を制御するときに押します。

㉒ 作動表示灯

自動火災報知設備からの起動や、㉑出力スイッチの放送階選択スイッチ、⓱一斉スイッチを押すことによって「緑色」に点灯し、その回線（ブロック）に放送することを表示します。

放送時にスピーカー回線が短絡すると、該当のスピーカー回線を制御する放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ、BGM ブロックスイッチの作動表示灯がすべて点滅します。また、液晶画面に「異常確認」と表示し、スピーカー回線を自動的に切りはなします。したがって、そのスピーカーからは放送が出力されませんのでご注意ください。

［個別回線作動表示］用に設定されている箇所は、個別スピーカー回線が放送中であることを表示します。

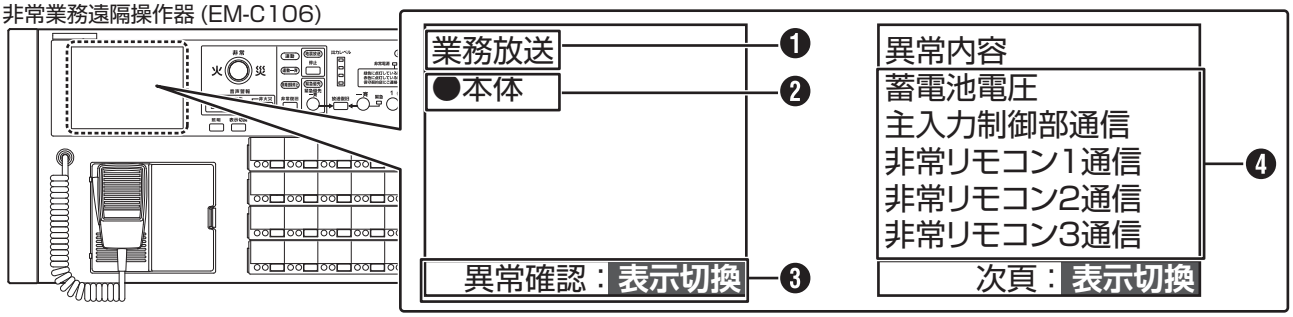
㉓ 出火階表示灯

火災感知器や発信機などの発報場所を**「赤色」**の表示灯で示します。

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)（つづき）

液晶表示部

業務放送、非常放送時に本機で行われている動作を表示します。



❶ 放送表示

業務放送時は業務放送、非常放送時は非常放送と表示されます。

❷ 起動放送名表示

どこから放送指示がきているかを表示します。

「本体」
本体（非常業務放送装置）からの放送中に表示します。一斉スイッチ、業務ブロックスイッチ［緑ネームカード］、放送階選択スイッチ［白ネームカード］によって起動する放送を意味します。

「非常リモコン」
非常業務遠隔操作器からの放送中に表示します。

「業務リモコン」
業務リモコンからの放送中に表示します。

「報時チャイム 1」～「報時チャイム 3」
報時チャイムの放送中に表示します。

「アナウンス U1」～「アナウンス U2」
アナウンスユニットからの放送中に表示します。

「無線」
無線機からの放送中に表示します。

「音声ファイル」
音声ファイルの放送中に表示します。

「電話ページング 1」～「電話ページング 3」
電話ページングの放送中に表示します。

「BGM」
BGM 入力または、BGM ブロックスイッチ［黄ネームカード］からの放送中に表示します。

「マルチ業務 RM-1」～「マルチ業務 RM-8」
マルチ業務リモコンからの放送中に表示します。

「緊急地震放送」
緊急地震放送の放送中に表示します。

「緊急優先放送」
緊急優先放送の放送中に表示します。

❸ 表示切換表示

異常表示が出たときに［表示切換］スイッチ（☞ 8 ページ）を押すと、異常内容を詳しく確認できます。

❹ 異常内容表示

異常が発生するとブザー音（ピーッ、ピーッ）がなり、［表示切換］スイッチ（☞ 8 ページ）を押すとブザー音が停止（スイッチを押した機器のみ）し、異常内容を表示します。異常内容の項目が 5 個所を越えると画面下部に「次頁」と表示されますので、［表示切換］スイッチを押すことで、残りの異常内容を表示します。

また、本体および非常リモコンのブザー音を止めたい場合は、［ブザー停止］スイッチ（☞ 11 ページ）を押してください。

「非常蓄電池電圧」
非常用蓄電池の電圧に異常があるとき表示します。

「業務蓄電池電圧」
業務用蓄電池の電圧に異常があるとき表示します。

「主入力制御部通信」
主入力制御部との通信に異常があるとき表示します。

「非常リモコン＊通信」（＊はアドレス No. です）
非常リモコンとの通信に異常があるとき表示します。

「非常リモコン＊モード」（＊はアドレス No. です）
非常リモコンの「切替モード」スイッチの設定が間違っているときに表示します。

「マルチ業務 RM ＊通信」（＊はアドレス No. です）
マルチ業務リモコンとの通信に異常があると表示します。

「音声合成部通信」
音声合成部との通信に異常があるとき表示します。

「D マトリックス＊通信」（＊はアドレス No. です）
デジタルマトリックスとの通信に異常があるとき表示します。

「音声合成データ」
音声合成データに異常があるとき表示します。

「パワーアンプ」
アナログパワーアンプに異常があるとき表示します。

「D アンプ」
デジタルアンプに異常があるときに表示します。

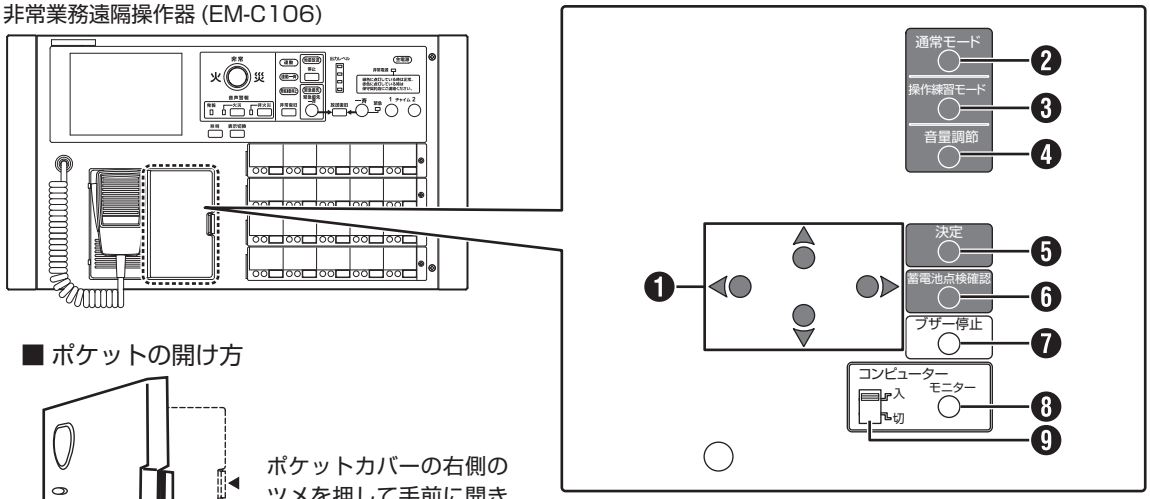
「短絡回線」
スピーカー回線短絡（ショート）時に作動表示灯（☞ 9 ページ）の点滅とともに表示します。

メモ：

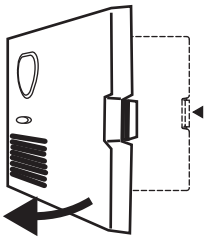
- 時刻／日付の設定は、非常業務操作器（EM-E106）の時計合わせの設定によります。
- 「業務リモコン」とはリモートマイクロホン PA-C50 シリーズのことです。
- 「マルチ業務リモコン」とは、マルチリモートマイクロホン PA-C620 のことです。
- 異常が発生した場合は、すみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口へご連絡ください。

ポケットカバー内

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



■ ポケットの開け方



ポケットカバーの右側のツメを押して手前に開きます。

❶ 選択・変更スイッチ
設定項目の選択、カーソルの移動などに使用します。

❷ 通常モードスイッチ
各種設定や操作練習を終えるときに押します。

❸ 操作練習モードスイッチ
操作練習モードに入るときに押します。
「操作練習モードの仕様」（☞ 21 ページ）

❹ 音量調節スイッチ
音量を調節するときに押します。
「音量調節のしかた」（☞ 23 ページ）

❺ 決定スイッチ
設定する内容を確定するときに押します。

❻ 蓄電池点検確認スイッチ
最新の自動蓄電池点検の結果を表示するときに押します。
操作練習モードなどの通常モード以外のモードでは、蓄電池自動点検の結果がいったん無くなります。24 時間ごとの自動点検が実施されると最新の結果が表示されます。

❼ ブザー停止スイッチ
異常発生時のブザー音を停止させるときに押します。

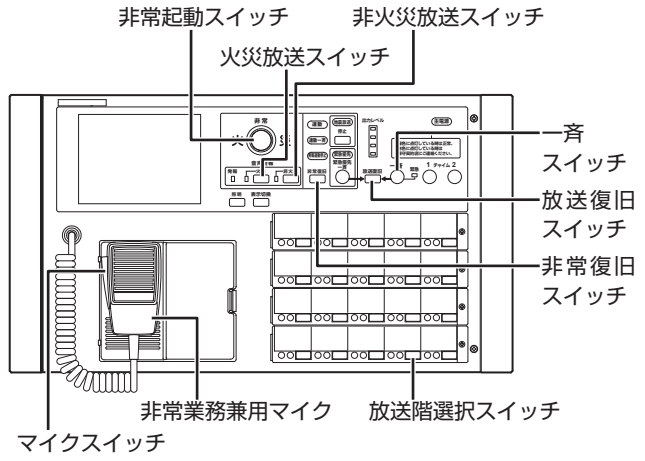
メモ：
- その他のスイッチを押した場合、システム全体のブザー音は停止しませんが、スイッチを押した機器のブザー音は停止します。

❽ コンピューターモニター表示灯
コンピューター動作が正常のとき点滅し、異常があると点滅しません。
「自動診断機能について」（☞ 5 ページ）

❾ コンピュータースイッチ
通常は「入」にしてください。
（緊急時、機器が動かなくなったときに「切」にすることでマイクによる全館一斉放送ができます。）
「緊急時、機器が動かなくなったら」（☞ 25 ページ）

緊急の場合（非常放送の操作方法）

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



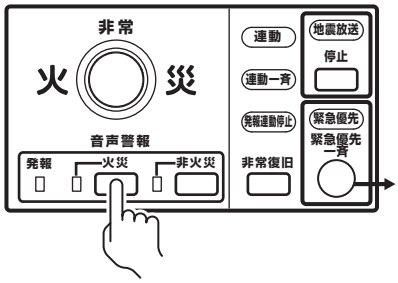
火災を確認する

出火階表示灯が点灯している場所の火災を確認します。
状況に応じて下記の動作を選んでください。
選択したあとでも、ほかの動作を選ぶことができます。

■火災放送メッセージの放送を行うとき

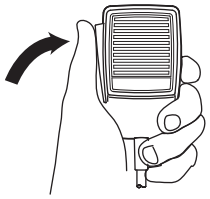
火災放送スイッチを押します。

- メッセージ内容
  「火事です。火事です。○○で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」



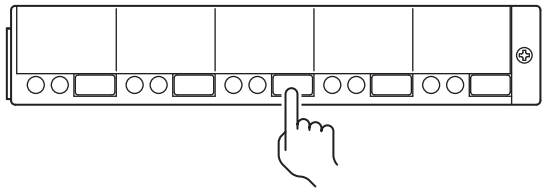
■非常マイク放送を行うとき

非常業務兼用マイクを手にとり、マイクスイッチを押しながら、放送します。



■放送場所の追加を行うとき

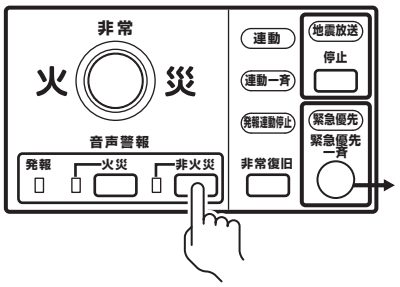
追加したい放送場所の放送階選択スイッチを押します。



■非火災放送メッセージの放送を行うとき

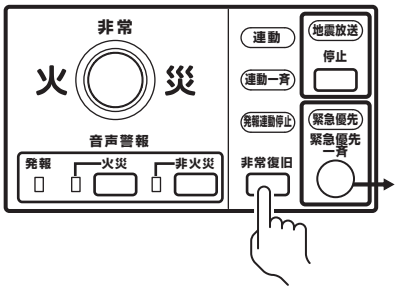
非火災放送スイッチを押します。

- メッセージ内容
  「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果異常がありませんでした。ご安心ください。」



メモ：

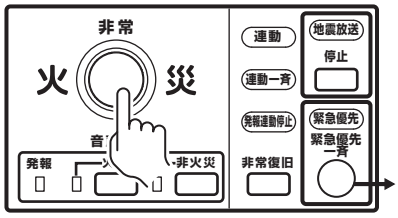
- 非火災放送スイッチを押して非火災放送メッセージを放送した場合は、火災移行タイマーが解除され、火災放送には移行しません。
- 非常放送を復旧する場合は、自動火災報知設備の非常状態を解除したあと、非常復旧ボタンを押します。



手動で非常放送を行う

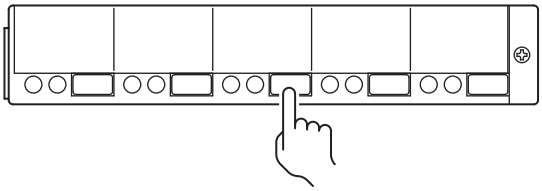
1 火災を確認する

2 非常起動スイッチを押す



3 放送階選択スイッチを押す

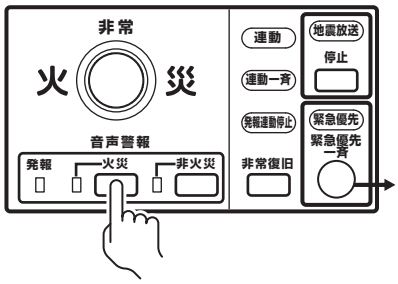
出火階の放送階選択スイッチまたは一斉スイッチを押します。



■火災放送メッセージの放送を行うとき

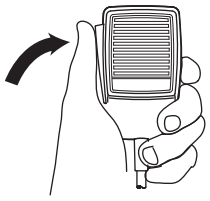
火災放送スイッチを押します。

・メッセージ内容
「火事です。火事です。火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」



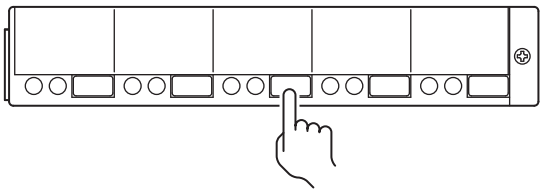
■非常マイク放送を行うとき

非常業務兼用マイクを手にとり、マイクスイッチを押しながら、放送します。



■放送場所の追加を行うとき

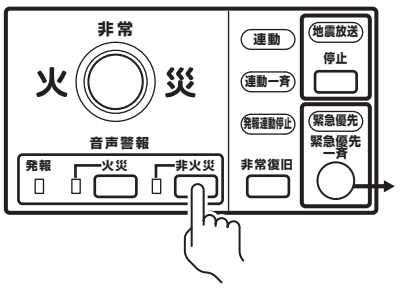
追加したい放送場所の放送階選択スイッチまたは一斉スイッチを押します。



■非火災放送メッセージの放送を行うとき

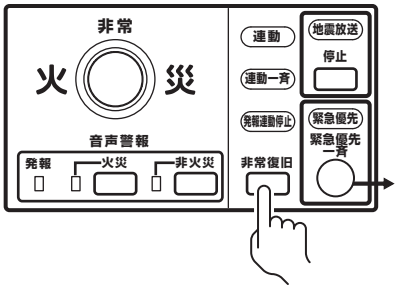
非火災放送スイッチを押します。

・メッセージ内容
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果異常がありませんでした。ご安心ください。」



メモ：

● 非常放送を復旧する場合は、自動火災報知設備の非常状態を解除したあと、非常復旧ボタンを押します。



● 非常放送時の一斉スイッチは、設定により放送しない回線を設定する「一斉はずし設定」ができます。詳しくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

非常放送の動作について

非常放送は設定により次のとおり動作します。

販売店様へ

本システムの設定状態を記入のうえ、お客様へお渡しください。

（設定状態を □ 内に“レ”印で記入してください。）

発報連動停止

□ 連動
□ 発報停止

発報火災切換

□ 発報
□ 火災

火災放送移行時間

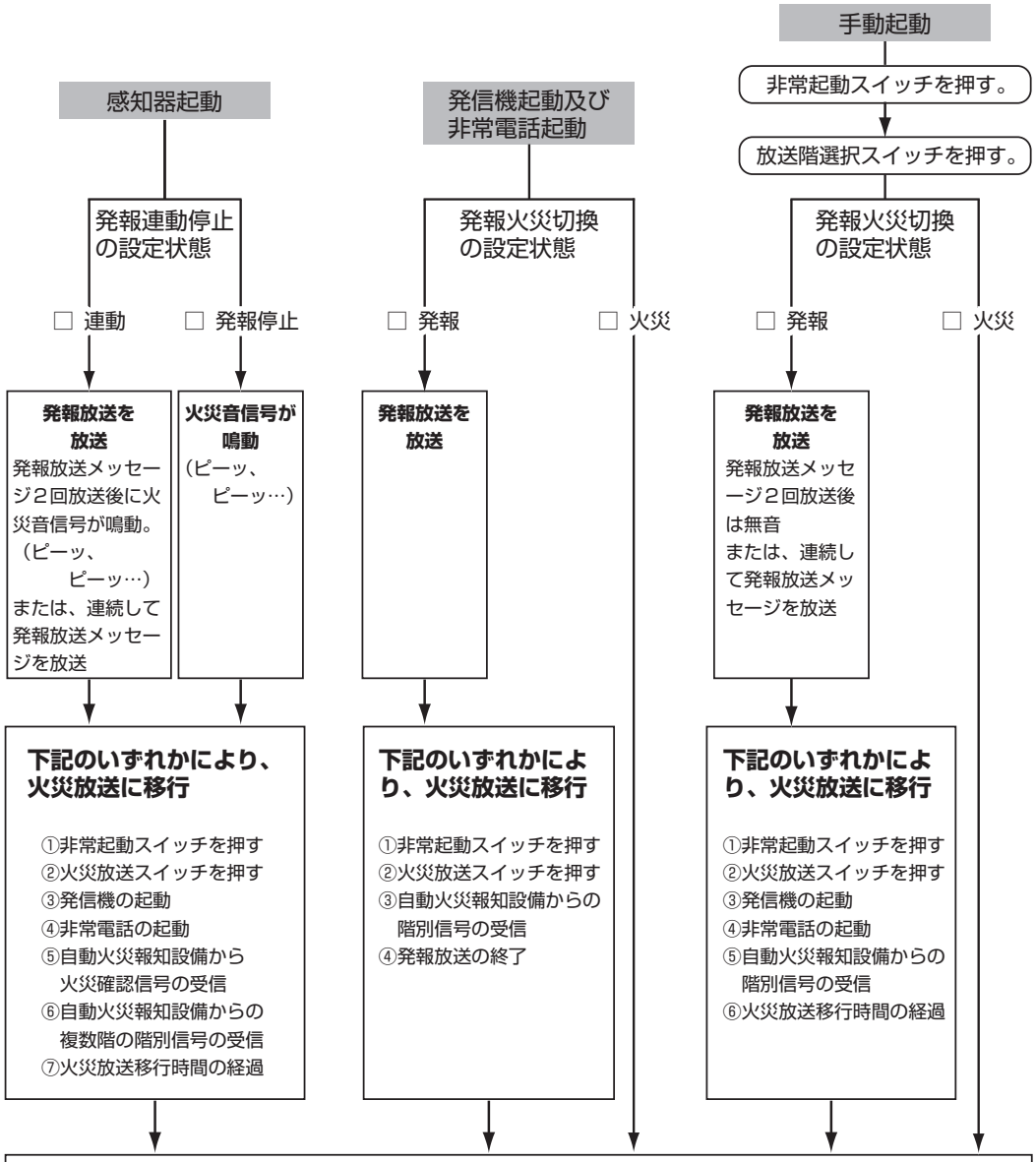
□ 分
□ 秒

一斉移行時間

□ ＯＦＦ
□ 分
□ 秒

緊急地震放送の優先度

□ 非常放送より緊急地震放送を優先
□ 緊急地震放送より非常放送を優先



火災ではないことを確認した場合は、**【非火災】放送スイッチ**を押してください。
非火災放送に移行し、非火災放送メッセージを２回放送します。

メモ：

- 発報連動停止、発報火災切換、火災放送移行時間、一斉移行時間の設定はあらかじめお買い上げ販売店が設定しています。
  設定内容についてのお問い合わせや変更などについては、お買い上げ販売店、保守点検業者、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

自動音声警報の種類と内容について

非常時、館内の人々へ向け確実に注意を促すため、以下の警報メッセージを自動的に放送します。（次のメッセージは 1 階の火災感知器が作動したときの例です。）

■ 発報放送のとき

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送**「ただいま 1 階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」**（女性の声）

■ 火災放送のとき

シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送**「火事です、火事です。1 階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」**（男性の声）＋スイープ音（フィッ、フィッ、フィッ）

■ 非火災放送のとき

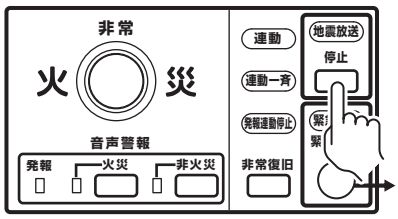
シグナル音（パポ、パポ、パポ）＋自動音声放送**「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」**（女性の声）

メモ：

- 自動火災報知設備から階別信号の受信がない場合は、出火階情報のない自動放送となります。
  メッセージの変更は、お買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口へご相談ください。

緊急地震放送について

非常放送より緊急地震放送を優先するように設定している場合、非常放送中に緊急地震速報を受信すると、非常放送のシグナル音と火災放送の自動音声放送を中断して緊急地震放送に切り替わります。緊急地震放送終了後は非常放送状態に戻ります。
直ちに非常放送に戻したい場合は、緊急地震放送停止スイッチを押し、緊急地震放送を停止させます。



メモ：

- 非常業務遠隔操作器（EM-C106）を EM-C96 互換モード（EM-900 シリーズに接続）として使用する場合は、非常放送より緊急地震放送を優先することはできません。

非常放送の操作ガイドについて

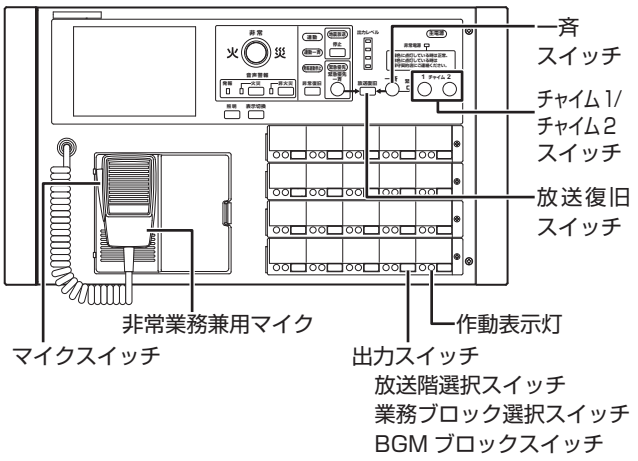
非常放送時は非常業務操作器（EM-E106）および非常業務遠隔操作器（EM-C106）の液晶表示部に操作ガイドが表示され、適切な操作の手助けになります。また非常業務操作器のモニター用スピーカーから音声による操作ガイドが出ます。音声操作ガイドは設定により「あり」「なし」が選択できます。
設定についてはお買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口へご相談ください。

業務放送のしかた

業務放送とは、非常放送以外の一般放送のことです。本システムでは、非常業務操作器、非常業務遠隔操作器、業務リモコン、ミキサーユニット、BGM 演奏機器、マルチ業務リモコンなどから業務放送ができます。

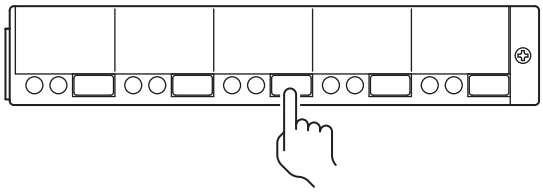
非常業務遠隔操作器（EM-C106）からのマイク放送

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



1 放送したい場所を選ぶ

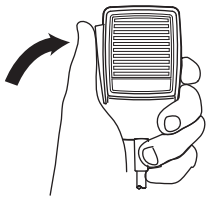
放送する場所の出力スイッチ（放送階選択スイッチ、業務ブロックスイッチ）、または一斉スイッチを押します。



2 放送をする

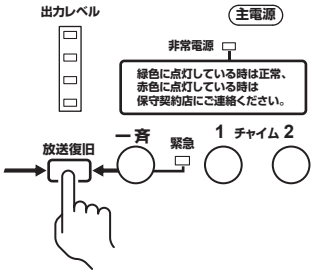
非常業務兼用マイクのマイクスイッチを押し、放送します。

放送の前後にスピーカーからチャイムをならすときは、チャイム 1 またはチャイム 2 スイッチを押します。



3 放送を終了する

放送を終了するときは放送復旧スイッチを押します。



メモ：

- 出力スイッチを押し、作動表示灯の点灯を確認してから放送してください。
- 非常業務操作器（EM-E106）と非常業務遠隔操作器（EM-C106）からは、同じ操作で業務放送ができます。
- 非常放送時の一斉スイッチは、設定により放送しない回線を設定する「一斉はずし設定」ができます。詳しくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

ブロック放送をする

本システムは非常業務操作器（または非常業務遠隔操作器）からの業務ブロック放送をはじめ、任意のスピーカー回線を業務リモコン、BGM、電話ページングなどの機能別、用途別のグループにまとめて放送できる「ブロック放送機能」を持っています。この機能を使用するためにはプログラムの書き込みを行う必要があります。

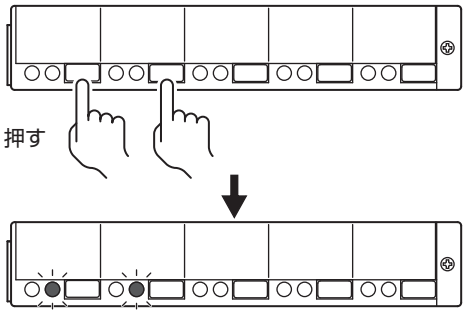
メモ：

- プログラムの書き込みは、設置時に行われています。設置時の書き込み内容を変更する場合は、お買い上げ販売店や保守点検業者、弊社ご相談窓口にご相談ください。

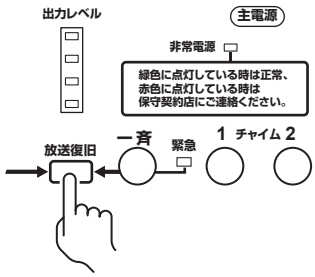
業務ブロック放送のしかた

状況に応じて、必要な業務ブロックスイッチ［緑ネームカード］を押してください。
非常業務遠隔操作器（EM-C1000 シリーズ）も非常業務操作器（EM-E1000 シリーズ）と同じグループが設定されます。

例）2 つ以上の業務ブロックへ同時に放送したいとき
必要な業務ブロックスイッチ［緑ネームカード］を押してください。



- 終わるときは「放送復旧スイッチ」を押してください。



メモ：

- 業務ブロック放送は、スイッチごとに緊急放送の指定ができます。
  緊急放送に指定された業務ブロックは、スピーカーのアッテネーターがどの位置にあっても最大音量で放送されます。
  また、緊急放送に指定された業務ブロックスイッチと緊急指定をしていないスイッチを同時に押した場合、緊急指定をしていない場所も緊急放送になることがあります。

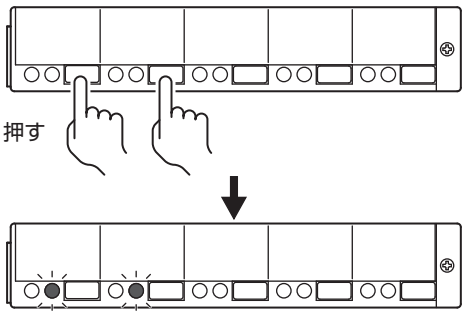
BGM のブロック放送のしかた

1 ブロック放送を行う

必要な BGM ブロックスイッチ［黄ネームカード］を押します。BGM ブロック放送は、他の放送が行われていると放送されません。

メモ：

- BGM ブロック放送は、設定により音量を下げて他の放送にミックスすることができます。詳しくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

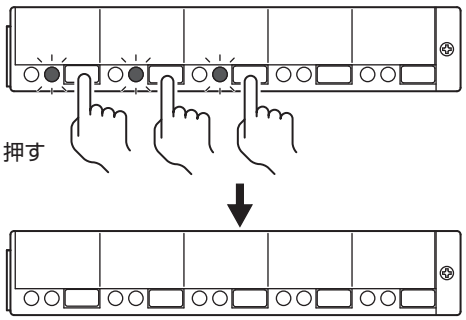


2 BGM 機器の演奏を開始する

演奏の方法は、BGM 機器の取扱説明書をご覧ください。

3 ブロック放送を終了する

終わるときは、BGM ブロックスイッチ［黄ネームカード］を再度押してください。放送復旧スイッチでは放送解除できません。
BGM 機器の電源は使用しないときは、OFF にしてください。



■制御出力ブロックスイッチについて（オプション）

制御出力ブロックに設定されているスイッチを押すと、本システムの制御出力端子に接続されている外部機器を制御することができます。
詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■個別回線表示ブロックについて（オプション）

作動表示灯が個別のスピーカー回線に対応しています。
放送中に作動表示灯が点灯し、放送場所をスピーカー回線ごとに確認することができます。

緊急優先放送について

地震、事故、防犯上の緊急連絡などの緊急事態に、最優先で放送可能とする緊急優先放送機能を持っています。緊急優先放送には緊急優先一斉放送、緊急優先ブロック放送、緊急優先起動放送の 3 種類の放送があります。
緊急優先放送では、放送先のスピーカーのアッテネーターがどの位置にあっても最大音量で放送されます。

■ 緊急優先一斉放送

緊急優先一斉スイッチの操作ひとつで、全スピーカー回線に他の業務放送より優先して非常業務兼用マイクで放送ができます。

ご注意：

- 非常業務遠隔操作器（EM-C106）を EM-C96 互換モード（EM-900 シリーズに接続）として使用する場合、「緊急優先一斉スイッチ」は、従来の EM-C96 の機能「緊急一斉放送」として機能します。「緊急一斉放送」は全スピーカー回線に放送されますが、他の業務放送より優先されません。

メモ：

- 緊急優先一斉スイッチは、設定により放送しない回線を設定する「一斉はずし設定」ができます。
  詳しくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

■ 緊急優先ブロック放送

ブロックスイッチを緊急優先に設定すると、スイッチ操作ひとつで、登録したメッセージや非常業務兼用マイクからの放送を任意のスピーカー回線に他の業務放送より優先して放送ができます。

■ 緊急優先起動放送

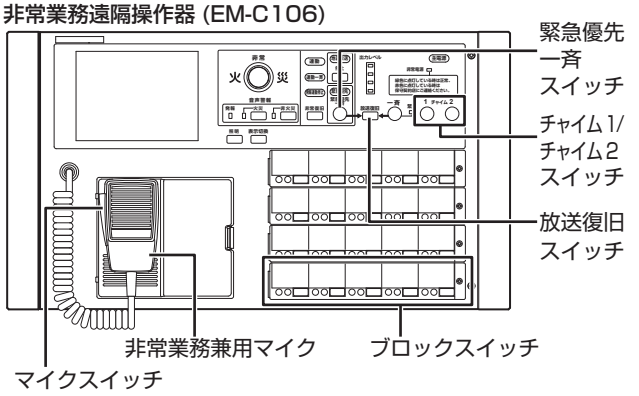
外部機器（センサーや起動スイッチなど）からの起動信号と連動して、登録したメッセージを任意のスピーカー回線に他の放送より優先して放送ができます。

メモ：

- 放送先の選択、メッセージの登録、外部機器からの制御は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- 停電放送に対応するには、業務停電放送用の予備電源システム（電源切換ユニット（EM-X11）と非常電源ユニット（EM-N112））が必要になります。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

緊急優先放送をする

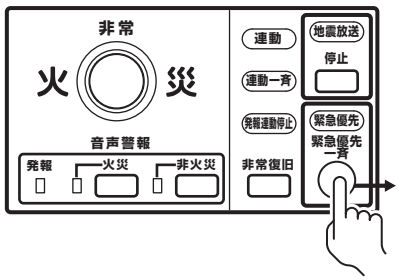
非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



緊急優先一斉放送をするとき

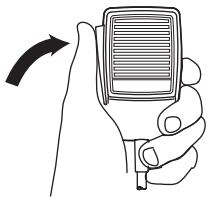
1 緊急優先一斉スイッチを押す

緊急優先表示灯、および放送階選択スイッチの作動表示灯がすべて点灯します。



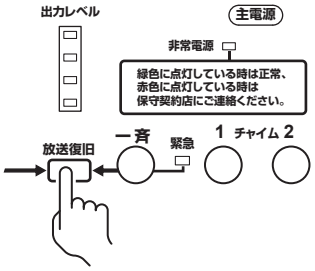
2 非常業務兼用マイクのスイッチを押し、非常業務兼用マイクで放送をする

- 放送の前後にスピーカーからチャイムをならすときは、チャイム 1 またはチャイム 2 スイッチを押します。
- メッセージが登録された緊急優先ブロックスイッチを押すと、メッセージが放送されます。



3 放送を終了する

放送復旧スイッチを押します。

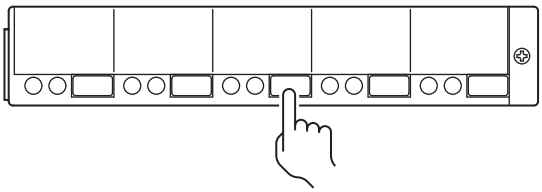


緊急優先ブロック放送をするとき

1 放送したい場所を選ぶ

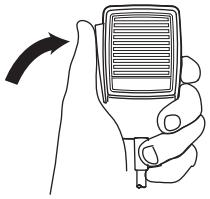
放送をしたい場所が緊急優先に設定されているブロックスイッチ［橙ネームカード］を押し、放送します。

- 緊急優先表示灯、および作動表示灯が点灯します。
- メッセージが登録されている場合、メッセージが放送されます。



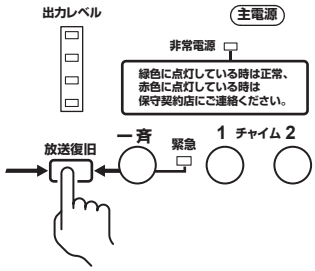
2 状況に応じて、非常業務兼用マイクのスイッチを押し放送をする

- メッセージ再生中に、非常業務兼用マイクで放送すると、メッセージは中断されます。
- 放送の前後にスピーカーからチャイムをならすときは、チャイム 1 またはチャイム 2 スイッチを押します。



3 放送を終了する

放送復旧スイッチを押します。



メモ：

- メッセージ再生中に、別のメッセージが登録された緊急優先ブロックスイッチを押すと、再生中のメッセージが停止され、あとから押したスイッチのメッセージが放送されます。このときの放送先は、各ブロックスイッチに登録された場所すべてになります。
- 緊急優先に設定されたブロックスイッチは、本体、非常リモコンの区別なく動作します。

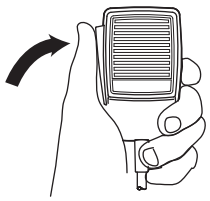
緊急優先起動放送をするとき

1 外部機器（センサーや起動スイッチなど）が作動して、緊急優先起動放送がはじまる

緊急優先表示灯が点灯します。
設定されたメッセージが放送されます。

2 状況に応じて、非常業務兼用マイクのスイッチを押し放送をする

- メッセージ再生中に、非常業務兼用マイクで放送すると、メッセージは中断されます。
- 放送の前後にスピーカーからチャイムをならすときは、チャイム 1 またはチャイム 2 スイッチを押します。



3 外部機器が停止すると、放送を終了します。

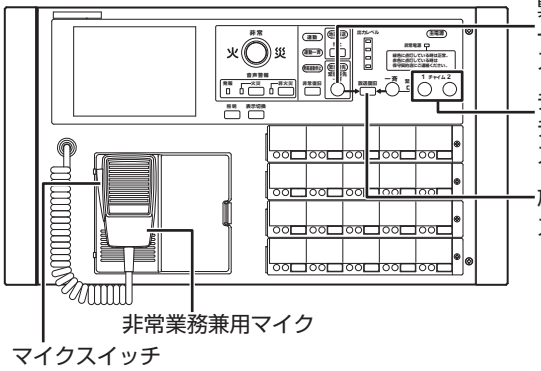
メモ：

- 外部起動による緊急優先起動放送は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- メッセージの内容は変更することができます。お買い上げの販売店や保守点検業者、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

停電時の業務放送について

停電時の業務放送は、業務停電放送用の予備電源システム（電源切換ユニット（EM-X11）と非常電源ユニット（EM-N112））が接続してある場合に放送できます。

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)

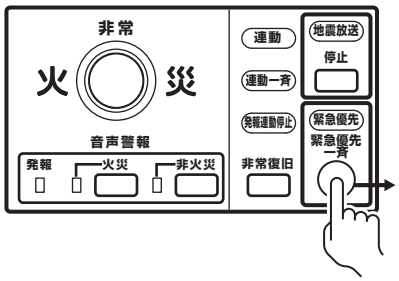


緊急優先一斉放送

停電時でも、フロントパネルの緊急優先一斉スイッチを押すだけで緊急優先一斉放送ができます。

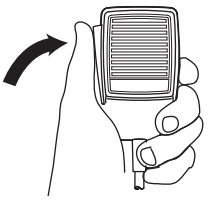
1 緊急優先一斉スイッチを押す

緊急優先表示灯、および放送階選択スイッチの作動表示灯がすべて点灯します。



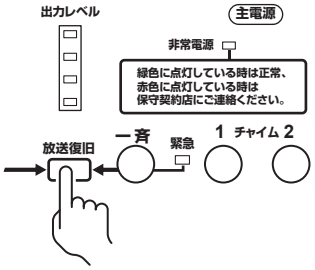
2 非常業務兼用マイクのスイッチを押し、放送をする

- 放送の前後にスピーカーからチャイムをならすときは、チャイム 1 またはチャイム 2 スイッチを押します。
- メッセージが登録された緊急優先ブロックスイッチを押すと、メッセージが放送されます。



3 放送を終了する

- 放送復旧スイッチを押します。
- 放送終了後、停電状態に戻ります。



メモ：

- 停電時は、ブロックスイッチによる緊急優先放送はできません。

停電起動放送

外部機器（センサーや起動スイッチ）からの起動信号により、停電起動放送を行います。

1 外部機器が作動する

外部機器が作動すると、装置が起動します。

2 放送が開始する

設定によって、各種の外部起動放送が開始されます。外部起動放送の設定をしていない場合、操作パネルからの操作によって放送できます。

3 外部機器が停止する

外部機器が停止すると、放送終了し、装置は停電状態に戻ります。

メモ：

- 停電時の放送は、あらかじめ工事とシステム設定が必要です。
- AC 100 V で運転する機器は、停電時には使用できません。
- 内容の変更をする場合は、お買い上げの販売店や保守点検業者、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

操作練習モードを使って非常放送の操作を練習する場合は、必ず防火管理者または保守点検業者または設置業者の立会いのもとで、館内の様子に十分配慮して操作練習を行なってください。

実際に火災が発生した場合（火災感知器や発信機が作動した場合など）には、すぐに通常モードスイッチを押して通常モードにしたあと、非常放送操作を行なってください。
操作練習モード中は次の動作になります。

- 放送をしません（スピーカー回線に出力しません）。
- 館内の業務放送アンプの音を遮断しません（RB 信号を出力しません）。
- 自動火災報知設備からの信号を受け付けません（自動火災報知設備との連動動作を停止しています）

操作練習モードの仕様

- 非常放送の操作を練習するときに使用します。事前に操作練習をしておくことにより、火災が発生したときに落ち着いて的確な避難誘導放送をすることが可能となります。
- 非常業務遠隔操作器（EM-C106）では、手動起動時の操作練習ができます。
  なお、非常業務操作器（EM-E106）では、さらに感知器起動時と発信機起動時の操作練習ができます。
- 操作練習中の音声は館内には放送されません。また放送中は操作練習モードに入れません。
- 操作練習の手順説明において示されている画面は設定内容により表示が変わります。

操作練習モード中の動作

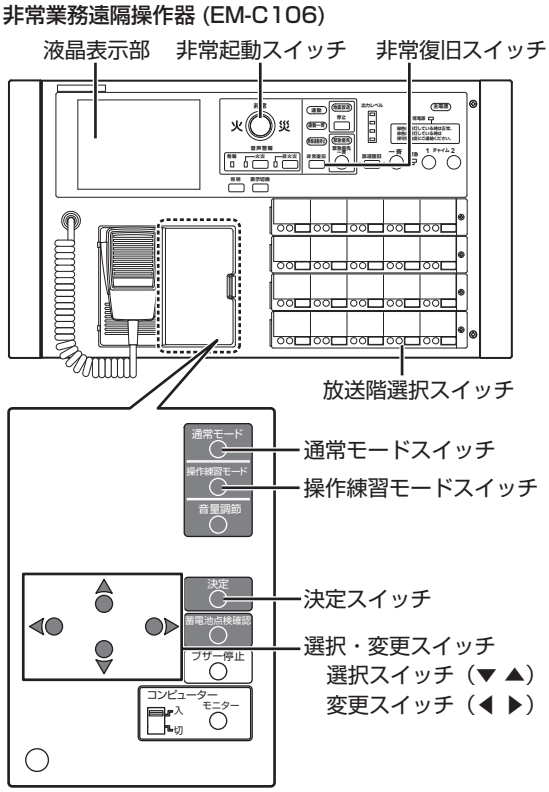
非常業務操作器（EM-E106）で操作練習モードに入ったあとは、非常業務遠隔操作器および非常業務遠隔操作器（EM-C106）で操作練習ができます。
同様に、非常業務遠隔操作器（EM-C106）で操作練習モード（手動起動のみ）に入ったあとも、非常業務操作器（EM-E106）でも操作練習ができます。
また、通常モードスイッチの使用により、操作練習モードから通常モードへ移行します。非常復旧スイッチを押しても通常モードへ移行します。
操作練習モード中も、マルチ業務リモコン（PA-C620）、デジタルマトリックスユニット（PA-MX92）の非常放送表示は通常モードと同様に動作します。

メモ：

- 操作練習モードから通常モードへ戻るときに、約５秒かかります。
  また、液晶画面や表示灯が一旦消えたりします。これは、システムリセット動作を行うためであり、異常ではありません。

本体での操作練習モードの詳細

■ 手動起動時の操作練習



1 操作練習モードを選択する

放送が行われていない状態で操作練習モードスイッチを押し、「操作練習設定」画面を表示します。この画面の表示中はまだ操作練習モードに移行していません。館内に放送が流れないようにご注意ください。

メモ：

- 操作練習中は操作練習モード中であることを液晶画面に表示します。バックライトも操作練習モード中は点灯し続けます。

次ページへつづく

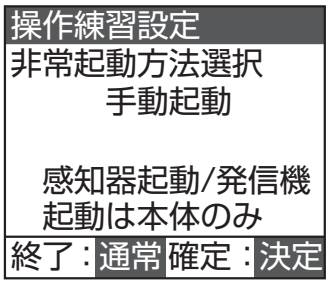
操作練習モードの仕様（つづき）

2 手動起動を選択する

選択･変更スイッチで「手動起動」を選択し､決定スイッチを押すと、操作練習モードに入ります。

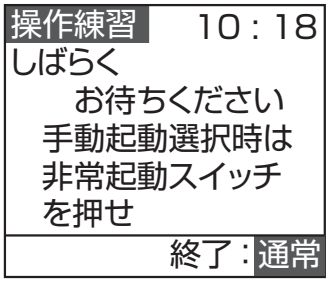
メモ：

- 決定スイッチを押す前に非常起動スイッチを押すと館内に非常放送が流れます。ご注意ください。



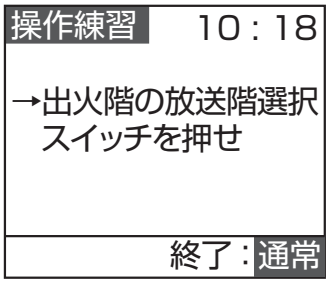
3 非常起動の準備をする

「手動起動選択時は非常起動スイッチを押せ」というメッセージ画面が表示されたら非常起動スイッチを押します。



4 放送階を選択する

「出火階の放送階選択スイッチを押せ」というメッセージ画面が表示されたら放送階選択スイッチを押します。以後画面の指示に従って操作を続けます。



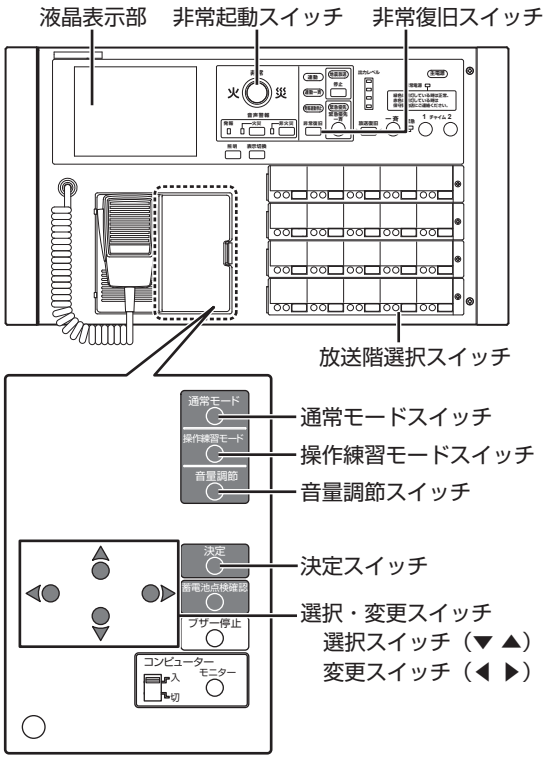
5 操作を終了する

通常モードスイッチを押し、通常モードに戻ります。非常復旧スイッチを押すことでも通常モードに戻ります。

音量調節のしかた

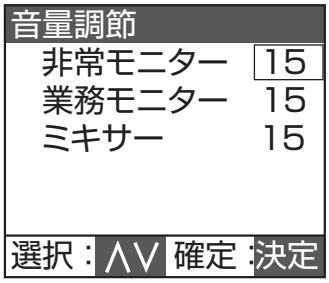
非常業務遠隔操作器（EM-C106）のモニター用スピーカーから出力される音量、および非常業務遠隔操作器に入力されてくる外部信号によって放送される音量の設定をします。

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



1 音量調節画面を表示する

音量調節スイッチを押し、「音量調節」画面を表示します。



2 各項目を設定する

選択・変更スイッチで設定が必要な箇所に合わせ設定を行なってください。選択できる数値の範囲は「0」～「20」です。

● 「非常モニター」
非常放送時のモニター音量を調節します。
選択スイッチで「非常モニター」を選択し、変更スイッチで数値を選びます。
業務放送時でも非常放送時のモニター音量（非常モニター）が調節できます。
「非常モニター」を選択し、変更スイッチを押すと、モニターの音量は「非常モニター」の音量になります。
決定スイッチを押すと、モニターの音量は「業務モニター」の音量になります。

● 「業務モニター」
業務放送時のモニター音量を調節します。
選択スイッチで「業務モニター」を選択し、変更スイッチで数値を選びます。

● 「ミキサー」
本機の外部入力からの音量を調節します。
選択スイッチで「ミキサー」を選択し、変更スイッチで数値を選びます。

メモ：
- 初期値はすべて「15」に設定されています。
- 各数値の減衰量は、以下のとおりです。
  - ・「20」＝　0 dB
  - ・「15」＝－10 dB
  - ・「10」＝－20 dB
  - ・「5」　＝－40 dB
  - ・「1」　＝－70 dB

3 設定を終了する

決定スイッチを押すと変更内容を有効にして終了します。通常モードスイッチを押すと変更内容を無効にして終了します。

ネームカードについて

ネームカードに放送先の名称を記入し、切りはなしてご使用ください。

ネームカードの記入

スイッチのネームカードは、設置時に記入されています。記入内容を変更する場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者にご相談ください。

■ 本機に添付のネームカード

次の 4 種類のスイッチは、本機に添付のネームカード（橙、白、緑、黄）をお使いください。

- 緊急優先ブロックスイッチ用
  緊急優先放送（業務放送）用ブロックスイッチとして使います。

橙

- 放送階選択スイッチ（業務、非常）用
  非常放送、業務放送兼用のスイッチとして使います。

白

- 業務ブロックスイッチ用
  業務放送専用ブロックスイッチとして使います。

緑

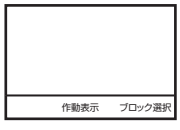
- BGM ブロックスイッチ用
  業務放送専用 BGM ブロックスイッチとして使います。

黄

■ オプション機能用ネームカード

次の 2 種類のスイッチ用ネームカードは、本機には添付されていません。記入内容を変更する場合は、お買い上げ販売店、保守点検業者にご相談ください。

- 制御出力ブロックスイッチ用

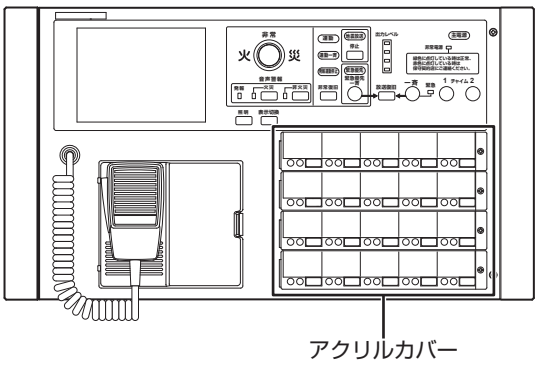


- 個別回線表示用

ネームカードの取り付け

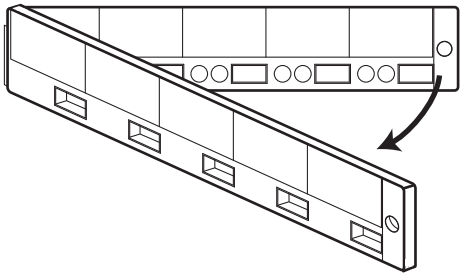
記入を終えたネームカードは下記の手順に従ってアクリルカバーの凹部に合わせて、ネジで固定します。

非常業務遠隔操作器（EM-C106）



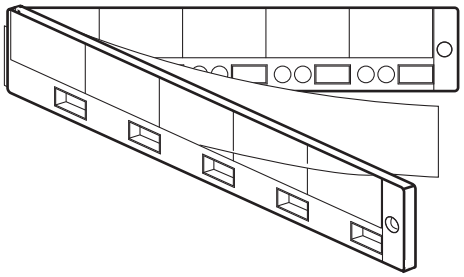
1 アクリルカバーをはずす

アクリルカバーを止めているネジをはずします。



2 ネームカードを差し込む

記入を終えたネームカードをアクリルカバーの内側に差し込みます。



3 アクリルカバーを固定する

ネームプレートがずれないようにアクリルカバーを元の位置に戻し、ネジで締めて固定します。

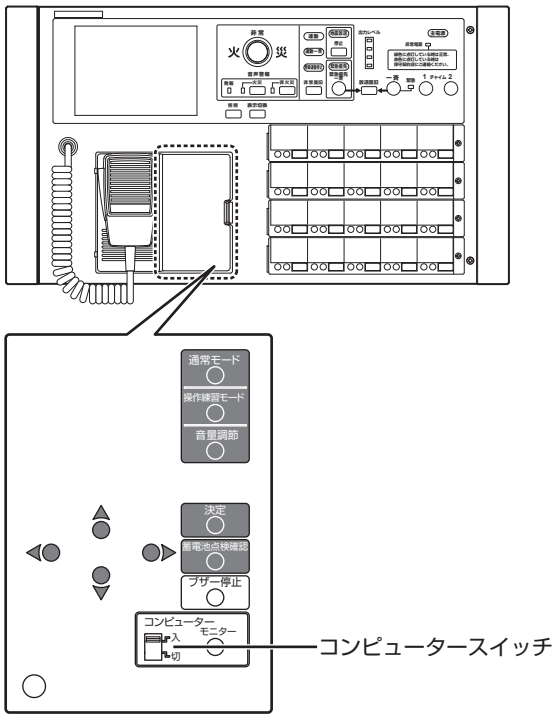
困ったときは

緊急時、機器が動かなくなったら

緊急時、機器が正常に動作しない場合の対応の方法について説明します。
万一、機器が正常に動作しなくなった場合、放送が必要であれば､非常業務遠隔操作器（EM-C106）のポケットカバー内、コンピュータースイッチを「切」にしてください。
非常業務遠隔操作器（EM-C106）の非常業務兼用マイクで一斉放送をすることができます。（このとき「ピー」というブザー音がなり続けます。）
ただし、停電時には放送できません。

放送が終了しましたら、コンピュータースイッチを「入」にしてすみやかにお買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口に故障の状態をご連絡ください。

非常業務遠隔操作器 (EM-C106)



ご注意：

- コンピューター入 / 切スイッチを「切」にした状態で、非常業務兼用マイク以外のスイッチ操作はしないでください。誤動作することがあります。
- 誤動作した状態から復旧させるには、一度コンピューター入 / 切スイッチを「切」にしたあと、約５秒後に再度「切」→「入」操作を行なってください。

保証とアフターサービスについて

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品は、ユニットごとに保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店、保守点検業者、または別紙の「ご相談窓口案内」をご覧のうえ、最寄りの弊社ご相談窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

アフターサービスについてのお問い合わせ先

その他アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売店、保守点検業者、弊社ご相談窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店に次のことをお知らせください。

型名	: EM-C1000 シリーズ
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

仕様

本システムの構成機器の許容動作温度は 0℃～ 40℃です。
本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

EM-C106　非常業務操作器

出力制御	20 回線（ブロック設定可）、緊急優先一斉、一斉（通常 / 緊急 設定可） 回線追加ケース（EM-E12）および回線追加ユニット（EM-E5）により最大 320 回線まで増設可		
出力スイッチ	5 スイッチ列ごとにブロック設定可 （緊急優先ブロック、放送階選択、業務ブロック、BGM ブロック、制御出力ブロック、個別回線表示）		
操作スイッチ	非常起動、非常復旧、火災放送、非火災放送、緊急地震放送停止、緊急優先一斉、一斉、放送復旧、 チャイム（1、2）、表示切換、照明		
表示灯	火災（赤）、発報放送（橙）、火災放送（赤）、非火災放送（緑）、連動（緑）、連動一斉（緑）、発報連動停止（橙）、 地震放送（赤）、緊急優先（橙）、緊急（緑）、主電源（緑）、非常電源（緑 / 赤）、出火階（赤）、 作動 / スピーカー回線短絡（緑）		
ポケットカバー内 操作スイッチ／表示灯	通常モード、操作練習モード、音量調節、選択・変更スイッチ、決定、蓄電池点検確認、ブザー停止、 コンピュータースイッチ、コンピューターモニター表示灯		
液晶表示	5.7 型（10 文字× 7 行、白色 LED バックライト付、LCD 使用フォント：株式会社リムコーポレーション製） ・ 非常放送操作ガイド ・ 業務放送内容表示、起動表示 （緊急地震放送、緊急優先放送、本体、非常リモコン、業務リモコン、マルチ業務リモコン 1 ～ 8、電話ページング 1 ～ 3、BGM、アナウンス U1 ～ 2、無線、報時チャイム 1 ～ 3、音声ファイル） ・ 異常発生内容表示 （非常蓄電池電圧、業務蓄電池電圧、パワーアンプ異常、スピーカー回線短絡、通信異常　他） ・ その他 （点検中表示、音量調節表示　他）		
モニタースピーカー	出力 0.45 W、音量調節器付、ハウリング防止回路付		
放送出力レベル計	4 点 LED（赤、橙、緑 2 点）		
音声入出力	入力レベル	入力インピーダンス	コネクター
非常業務兼用マイク入力	−45 dBs（AGC 付）	10 kΩ 不平衡	メタルコネクター
外部入力	−20 dBs/0 dBs	5 kΩ 電子平衡	コネクター端子台
モニター音声入力	+6 dBs	5 kΩ 電子平衡	コネクター端子台
音声出力	+6 dBs	150 Ω 電子平衡	コネクター端子台
周波数特性（1 kHz 基準）	非常業務兼用マイク以外：50 Hz ～ 15 kHz　0 dB ± 2 dB 非常業務兼用マイク：150 Hz　−3 dB ± 2 dB、15 kHz　−1dB ± 2 dB		
歪率	1 %以下（30 kHz　ローパスフィルター）		
S/N	66 dB 以上（非常業務兼用マイク以外、30 kHz　ローパスフィルター） 56 dB 以上（非常業務兼用マイク、30 kHz　ローパスフィルター）		
非常業務兼用マイク	ムービングコイル（ダイナミック）型ハンドマイクロホン付属、非常業務兼用		
電源	DC 24 V、350 mA（放送装置本体より供給を受ける）		
ラックマウントサイズ	EIA 6 U、奥行 70 mm（パネル面より）		
質量	4.2 kg		
外形寸法	幅 482 mm ×高さ 266 mm ×奥行 82 mm		
仕上げ	ライトグレー焼付塗装（マンセル 3Y6 ／ 0.6 近似）（日塗工 GN − 65（2013 年）近似）		
通線数	10 本（耐熱対撚り 5P）		

EM-E12　回線追加ケース

回線数	回線追加ユニット（EM-E5）4 個まで組み込み可（追加 5 回線 × 4 = 20 回線）
ラックマウントサイズ	EIA 2U、奥行 70 mm（パネル面より）
電源	DC 24 V、20 mA （EM-C106 より供給を受ける） EM-E5　1 台取り付け時　28 mA EM-E5　2 台取り付け時　36 mA EM-E5　3 台取り付け時　44 mA EM-E5　4 台取り付け時　52 mA
質量	2.0 kg EM-E5　1 台取り付け時　2.1 kg EM-E5　2 台取り付け時　2.2 kg EM-E5　3 台取り付け時　2.3 kg EM-E5　4 台取り付け時　2.4 kg
外形寸法	幅 482 mm × 高さ 88 mm × 奥行 70 mm（パネル面より）
仕上げ	ライトグレー焼付塗装 （マンセル 3Y6/0.6 近似） （日塗工 GN − 65（2013 年）近似）

EM-E5　回線追加ユニット

回線数	5 回線
組込対象ユニット	回線追加ケース（EM-E12 専用）
電源	DC 24 V、8 mA（EM-E12 より供給を受ける）
質量	60 g
外形寸法	幅 190 mm × 高さ 33 mm × 奥行 25 mm
付属品	アクリルパネル

EM-R6　リモコンケース

ユニット取り付け寸法	268 mm（EIA6 ユニット）
ユニット取り付け最小間隔	44 mm
質量	2.5 kg
外形寸法	幅 516 mm ×高さ 296 mm ×奥行 90 mm
仕上げ	アイボリー焼付塗装 （マンセル 4Y 8/0.9 近似） （日塗工 G22 − 85B（2013 年）近似）

EM-R2　追加リモコンケース

ユニット取り付け寸法	90 mm（EIA2 ユニット）
ユニット取り付け最小間隔	44 mm
質量	2.0 kg
外形寸法	幅 516 mm ×高さ 115 mm ×奥行 90 mm
仕上げ	アイボリー焼付塗装 （マンセル 4Y 8/0.9 近似） （日塗工 G22 − 85B（2013 年）近似）

EM-C1000 シリーズ
ラック型非常業務遠隔操作器　インテリジェント PA システム

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

0120–2727–87

携帯電話・PHS・一部のIP電話・FAXなどからのご利用は
電話 (045)450-8950［代表］
FAX(045)450-2308
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ　http://www3.jvckenwood.com/

株式会社 JVCケンウッド
〒 221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

© 2013 JVC KENWOOD Corporation

LST1497-001A